

### 令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	子どものための今すぐはじめる森と木のある暮らし事業
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人 矢作川源流の森ねば 長野県下伊那郡根羽村407-10 根羽村森林組合 担当 今村 豊 0265-49-2120
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ウ 森林づくりと林業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,057,670 円 (うち支援金: 2,293,000 円)

#### 事業内容

南信州の小中学生を対象に、普段の生活の中に「森や木のある暮らし」が実践できるように、身近に存在する里山を活用して、森の中にウッドデッキを設置しました。内容は次のとおり。

- ①小学校での子どもによるウッドデッキの組み立て
- ②子どもたちのロープワークによる森林内へのデッキ材料運搬
- ③子どもたちによる森林内におけるウッドデッキの製作・設置
- ④子どもたちによる森林内ウッドデッキの活用
- ⑤子どもたちによる設置したウッドデッキ周辺の森林歩道整備
- ⑥子どもたちによる地域材住宅見学



【森の中にウッドデッキを設置】

#### 【目標・ねらい】

- ①子どもたちの手による森林内へのウッドデッキ製作体験
- ②ロープワークによるどこでも資材運搬方法の習得
- ③技術・技能を得た子どもたちが自ら考える創造的森林空間活用
- ④南信州の里山を活用していく感性やセンスの育成

#### ※自己評価【 A 】

##### 【理由】

子供たちと森の中へロープワークの実践を通して、ウッドデッキを製作し設置しましたが、子どもたちの張り切り方や楽しみ感、達成感が極めて高く、今後のデッキの活用期待感も大変高いことが予想以上でした。

#### 事業効果

- ①子どもたちが自らウッドデッキを製作・設置することにより、「自分達が仲間と協力して作り上げた場所」という達成感や仲間意識を育み、森の中で楽しく快適に過ごせる時間を増やして、自分達のアイデアにより楽しい森林空間を創造できる気づきを与えたこと。
- ②ウッドデッキの製作・設置にあたり、子どもたちがロープワークを活用する体験プログラムも作成し、どんなに遠い森の中にもウッドデッキ製作・設置が可能であることを体感させたこと。
- ③これらの体験活動を通して、小学生時から、主体的に身近な里山空間を魅力的な森林空間及び生活空間に変えていく「ゾーニングの考え方」や、森を魅力的な空間に変えていく「プレイスメイキング」のできる考え方やセンスを身につけるきっかけとしたこと。
- ④自ら製作・設置したウッドデッキが子どもたちの活動拠点となったこと

#### 今後の取り組み

南信州の里山を身近な森林資源として育つ子供たちに、もっと森林を知って理解してもらい、楽しんでもらいたい、もっと子供たちが自ら自分達の手で素敵な森林空間を作って、そこで楽しい素敵な時間を仲間と共に創り上げてもらいたい、という気持ちからこの事業を実施しました。多くの県民にとって、森林や里山は身近な存在でありながら、活用という面ではとても遠い存在です。子どもたちにとっても森林の魅力を感じること、それを知る者が導かない限りは、とても不可能でしょう。しかし、森をもっと楽しめる技術や技能を身に付ければ、創造性を発揮する里山フィールドは無限です。水源の村に住み、間伐などの森林整備を業務として取り組んでいる我々森林組合職員や、それに関係する森林関係者の後継者を考える時、今何をすべきなのか。水資源の安定供給や、河川の洪水防止等、市民のライフラインを守る責務を果たす、そんな森林県長野県ならではの職業やそれに関わる人材を育成していく必要があります。今回の事業を参考に各地の小中学校で、森林に触れる機会をたくさん設けてもらえることを願っています。